

今年も通常の広報活動に加えて、7月から「陸・海・空自衛隊 サマーフレンドシップキャンペーン」を行いました。県内・県外問わず様々なイベント開催&参加してきましたのでご紹介します。

Activity Logs



アシコタウン足利広報展



体験搭乗P-3C



城東小学校防災教育



那須ハイランドパーク



ふるさと茂木夏祭り



体験航海「あさぎり」



うつのみや花火大会支援



ふるさと宮まつり



体験搭乗C-130



航空職種説明会



宿泊体験「かが」



西方子ども夏まつり



体験搭乗SH-60



旅団広報の日

ご参加ありがとうございました!!
秋のイベントもたくさんあります
自衛隊イベントへご参加ください



～母校にて自衛隊体育学校リクルータ活動～

足利地域事務所は8月30日(土)、白鷗大学足利高校において、リクルータ活動を行った。
まだまだ熱い8月の猛暑ではあったが、白鷗大学足利高校出身で自衛隊体育学校所属の鈴木美結選手が公開スパーリングや技術指導を実施、後輩たちと交流の輪を深めた。
来場した後輩たちからは成長した先輩の鈴木選手を見て「すごい!カッコイイ!」などの驚きの声があがった。
足利地域事務所は「今後も地域の高校や自衛隊体育学校と連携を図り、自衛隊の魅力を発信していく」としている。



鈴木選手と記念撮影



技術指導

～いすゞ夏祭り (ISUZU SUMMER FESTA2025)～

小山地域事務所は、8月1日(金)、いすゞ自動車株式会社栃木工場(栃木市大平)で実施された「いすゞ夏祭り (ISUZU SUMMER FESTA 2025)」において、第307施設隊(宇都宮)の支援を受け、広報展を行った。
当日は30℃を超える真夏日の中、自衛隊広報ブースに多くの来場者が訪れ、夏祭りを通して地域交流できたと実感した。
広報展は、いすゞ社製の31/2トラック、31/2トラック(作業装置付)の展示のほか、1/2トラック展示、制服試着コーナー及び自衛隊紹介コーナーなど、子供から大人まで沢山の来場者が制服姿で写真を撮るなどして楽しんでいた。
来場者は、自衛隊のことを質問したり、普段見られない車両に乗り込んで写真を撮る機会となり、自衛隊への関心を深め、活動を理解してもらうことが出来た。
小山地域事務所は「今後も、地域に密着しながら、自衛隊に対する興味や理解促進に努め、自衛隊を身近に感じてもらうよう広報イベントに積極的に参加していく」としている。



迷彩服を着て自衛官に変身



パジェロの前で記念撮影

～福島地本との情報交換・連携強化～

8月28日(木)、福島地本5名、栃木地本9名が参加した意見交換のための研修が行われた。
昨年度との交代で福島地本が栃木地本(大田原地域事務所)へ来所する形で行われ、県境の事務所の連携を目的として情報交換をはじめ相互に研修を行っている。
所内の談話室で、多くの意見交換が行われ、今年度もとても有意義な研修となった。
また、所長間で、今後も情報交換、越境地域での連携、イベント等を実施していきたいと前向きな提案も検討された。

事務所玄関にて



～JR宇都宮駅に自衛隊サテライトブースOPEN!～

7月22日(火)から8月8日(金)の間、JR宇都宮駅に隣接するトナリエ宇都宮1Fに栃木地方協力本部のサテライトブースを開設した。
初日にオープニングセレモニーが行われ、栃木地方協力本部長(加藤1佐(当時))らによるテープカットが行われた。
サテライトブースには、自衛隊説明ブースのほか、休憩スペース、装備品展示コーナー、制服試着コーナー及び勉強スペースなどが設けられ、夏休み中の学生達の休憩や勉強に活用してもらうことを念頭に、商業施設への買い物、電車やバスを待っている時間などに立ち寄ってもらうことを期待。
多くの人が行き交う宇都宮駅前の立地を有効活用し、スタッフによる声掛けや説明などを行いやすい環境を整えることで有効にブースを活用し、効果的な募集広報活動を行うことができた。



パイロットのヘルメットを装着



展示品の説明(戦闘用糧食)

～大学生対象インターンシップ～

8月19日(火)・20(水)栃木県内等の大学生11名と横須賀基地及び武山駐屯地(神奈川県)においてインターンシップを実施した。
1日目の横須賀基地では、概要説明、体験喫食、艦艇見学、隊員との懇談が実施され、懇談においては参加者が積極的に質問して疑問を解消できた様子だった。
2日目の武山駐屯地では、31普通科連隊長による講話、概要説明、伝言ゲーム・間違え探し及び集団討議の体験型学習、体験喫食、武山駐屯地資料館の見学が実施され、求められる人物像や体験型学習により問題解決方法を学んだ。
今回のインターンシップを通して、自衛隊を職業選択の一つとして認知してもらうとともに、大学生に求められている人材を理解してもらうことによって今後の就職活動の資としてもらえると感じた。



護衛艦てるづきの見学

～宇都宮短期大学附属高校スマートハート～

宇都宮募集案内所は、8月29日(金)宇都宮短期大学附属高校において「スマートハート」を実施した。本企画は派遣型の体験学習で、平成25年から希望する高校で実施している。
同校の参加者93名が9班に分かれ、コミュニケーション能力向上施策として基本動作や発声練習などを行い、最後に連携の成果を実習として披露し授業を終えた。
実習後生徒たちからは、生き生きとした表情が感じられ、「自信がついて堂々と発言できるようになった」と嬉しそうに話していた。
宇都宮募集案内所は、「今後もこのような活動を通じ、自衛隊を将来の選択肢の一つとして認知してもらえるようPRしていく」としている。

自衛隊らしい動作で生徒に挨拶

